

7 月 3 日：底値買いが入り弱気姿勢は緩和

ホーチミン取引所では底値買いが入り下落幅を縮小したものの、投資家は世界経済の減速を警戒していることから商いは低調だった。

139 銘柄が上昇したのに対し 148 銘柄が下落し、VN 指数は前日から 1.59 ポイント (0.17%) 安の 960.39 ポイントで引けた。

同取引所では 1 億 36 百万株が売買され、売買代金は 3.4 兆ドンとなった。うち 2,280 万株、9,180 億ドンは相対売買によるものだった。前日に続く動きで、取引開始後は下落圧力にさらされた。

大型株の中では、住宅デベロッパーの VHM が 1.11% 高の 82,000 ドンで引けたほか、乳業メーカーの VNM、ビールメーカーの SAB、銀行の BID などが堅調に推移した。

大手銀行の VCB は時価総額上位 10 位銘柄の中では最も下落し、1.28% 安の 69,600 ドンで引けた。

ジュエリーメーカーの PNJ、鉄鋼の HPG、銀行の EIB、不動産デベロッパーの NVL 等の優良株も 1.47% から 2.49% の下落となった。

特に HPG は、630 万株が売買され、うち外国人投資家は 276 万株売り越した。株価は 1.99% 安の 22,150 ドンで引けた。

アメリカ商務省は火曜日、韓国または台湾で生産され、ベトナムで一部加工されたのちアメリカへ輸出される一定の鉄鋼製品について、456% の関税を課すことを言及した。これが HPG の直接の下落要因となった。

建設会社の ROS は 900 万株が売買され市場を牽引し、29,400 ドンで変わらずだった。

中小型株では、不動産デベロッパーの HAG が約 490 万株売買され、1.69% 高の 5,420 ドンで引けた。同社の農業子会社の HNG も 1.46% 高の 17,350 ドンで引けたが、商いは 65 万株と低調だった。

ハノイ取引所では、HNX 指数が前日比 0.21% 安の 103.67% で引けた。60 銘柄の上昇に対し 65 銘柄が下落した。

出来高は前日比 17% 低下し 1,970 万株、売買代金は同 12.5% 増の 3,430 億ドンとなった。

原油サービス関連の PVS、銀行の ACB、建設の VCG 等の大型株は下落した。

反対に、建設資材関連の VCS は 8.02% 高の 66,000 ドンで引け、出来高も 74 万株と活況だった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。